

分野別意見交換会報告書 【総務常任委員会】

開催日時： 令和7年(2025年)5月20日(火)14時00分～16時00分

開催場所:委員会室

団 体 名 :「令和6年能登半島地震」に被災地派遣された市職員(3名)

出席議員:田中真由美委員長、山根ひとみ副委員長、竹内洋人委員、尾崎夏樹委員

中西智子委員、中嶋三四郎委員

傍聴者数:8名(非公開のため委員外議員8名)

テ ー マ :地域防災とまちづくり～避難所運営について～

番号	項目	内容
1	地震の概要	令和6年1月1日(水)16時10分 震源及び規模:石川県能登地方 マグニチュード7.6、震源の深さ16km
2	被災地の概要	輪島市 面積 426.32km ² 8割が山林 七尾市にベースキャンプを置く→そこから避難所へ 大阪府の応援職員は7泊8日(避難所泊⇄非番の繰り返し) BCから避難所までの道路は渋滞していた
3	被災地の様子	沿岸の港の周辺に市街地がある 輪島朝市周辺は約300棟、約5万haが焼失した ご家族が清掃活動をしていて、生々しい光景を目の当たりにする
4	支援の様子	自宅避難者への物資配布は他府県の応援による 避難所の周辺道路は広範囲に陥没・破損していて、カラーコーン で注意喚起するのみ インフラ復旧より避難者の生活を優先
5	避難所の様子	水道は使用不可、暖房は石油ストーブ、窓が割れていてブルー シートで応急措置、学校グラウンドは液状化による亀裂陥没
6	トイレについて	校舎のトイレ、近隣他市から提供されたトイレカー 段ボール箱にビニール袋をかぶせて簡易トイレ 排泄物を固める粉をかけて、衛生班が毎日回収 自衛隊がプールに水を貯めて、ポンプで水を汲み、水洗トイレに
7	仕切りについて	段ボールハウス(主に家族連れ)プライバシーの確保 簡易テント(主に単身者)
8	共有スペースについ て	テレビがあり、歓談できる 約7割が高齢者 一日中避難所にいるので共有スペースは必要
9	ペットについて	ペット可の避難所はクレーム、トラブルが多い(鳴き声など)
10	支援物資について	発災当初から様々な物資が届いていた 仕分けに人員や労力が必要 米が届いても水がないので炊けない 量が中途半端 賞味期限が切れているものもあった 支援物資の管理が課題(賞味期限など)

番号	項目	内容
11	支援物資について	体育館内にジャンル分けをして配置 避難者が自由に持って行ける 携帯の充電コーナー、Wi-Fi完備 簡易シャワー
12	支援活動について ボランティア	水の補給、簡易トイレの清掃、スマホ相談、モバイルバッテリーの 配布、大阪府警の巡回、安全相談、高齢者の相談、百歳体操、 動物病院によるペットの健康相談、散髪ボランティア
13	避難所について	掃除タイムがあり、皆で活動 自主運営委員会が運営 自衛隊が食事提供(食事の量が課題・多過ぎ、少な過ぎ) 生活リズムの変化に対応するのが課題 自衛隊の炊き出しは美味しいがレトルトなど飽きてくる、メニュー を見てやめる人も 高齢者など、体を動かさないと体調不良を起こす フローカーリングなどで体を動かし楽しみながら過ごしていた 洗濯機 あまり使用されなかった (利用カードを作成・配布)
14	自衛隊支援について	入浴支援 毎日お風呂を提供 食事支援 毎日3食提供
15	課題について	避難所では性被害、性暴力、DVが起こりやすい 防犯対策は考慮の余地が大いにある 仕切り内スペースに不審者が侵入、見知らぬ男性が声をかける などの対応として見回りを強化した 盗難 避難者がナーバスになっているので、不安を払拭するのが課題 段ボールハウスは快適だが、中の様子が把握できない プライバシーの確保と安全面が相反する場合もある 支援ニーズと供給物資のミスマッチ 防犯対策のさらなる向上 健康に対する十分な配慮
16	今回の経験から 何を伝えたいか	応援職員の交代により、情報伝達が行き届かない データベースはあるが、改良の余地あり DX化を推進する一方で、情報共有に課題がある 医療的ケア、精神疾患の方々の支援 避難者とのコミュニケーションが必要